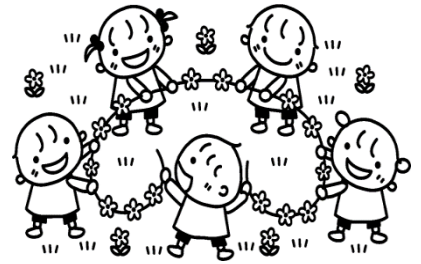


しよき

ぜんくしろだより



全釧路教職員組合・書記古川和美

2018・8・18

NO9

矢臼別平和盆踊りパート2

高教組で初参加のK先生は一人用のテントを持ち込んで参加し、朝5時からの朝食の支度を進んで手伝い、感想を寄せてくれました。

“矢臼別はとても大切にしたい神聖な場所。平和を願う人々が長年培ってきた大切な運動ですね。見知らぬ子どもたちが、心を寄せ合い、知らない間に鬼ごっこし始めて社会を作っている。ステキなことですね。来年は私の家族にも、かわいい姪っ子にも伝えて一緒に



来たい！と思っています。”



設営隊にもたくさん組合員が参加しています。宗谷教組に異動した組合員、退職した組合員も奮闘しています。毎年買い物、接待とたくさんの役割を一手に引き受け、奮闘している組合員もいます。初日からずっとD型ハウスに泊まって汗を流す人、毎日のように遠くから通って来る人、ショットバーを

開き、一滴も飲まずにひたすら接待をして売り、夜のうちに帰る人、関わり方はちがうけれど、たくさんの人々が作り上げる矢臼別平和盆踊りはやっぱり最高ですね。



7月28日(土) 米海兵隊矢臼別移転訓練反対・日米共同訓練ノーズンバイパー反対全道集会

全釧路が事務局を勤めて奮闘しました。

講師の琉球新報東京支社報道部長滝本匠さんの、映像を交えた米軍ヘリ墜落事故・オスプレイの危険性・大きな沖縄の負担の話にはとても悔しい思いで聞きました。沖縄だけの話ではなく、いま日本の置かれている状況がとても危険であるということがわかりました。集会には200人程が集まりました。当日は霧フェスティバルがあったので、多くの人が集まる中でのデモ行進は世間の注目を浴びました。



全国学校事務研究集会札幌

7月29日(日)～31日(火)

会場が札幌ということもあり、全釧路の事務職員部西山先生が実行委員長を勤め奮闘しました。西山先生は組合員以外の職員を誘い、実行委員まで引き受けてもらっていました。すごいですね。お疲れ様でした。

全教養護教員部集会(7月27日~7月29日)

全釧路からは組合に入らたての

若い先生が参加しています。お疲れ様でした。



西日本豪雨災害救援カンパのお願い

西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」では、各地で土砂崩れや河川の氾濫が発生し、多数の死者や安否不明者が出ており、甚大な被害にあわれました。心よりお見舞い申し上げます。

これらの状況の中、学校施設が直接被害を受けたり、子どもたちが避難所での生活を余儀なくされている地域もあります。今回の豪雨による被害に対し、被災地への災害救援とともに、「子どもと学校の救援カンパ」をよびかけております。夏休み前にカンパ袋は各分会にまわしております。現在23,906円が集まっています。“カンパ袋を回したら皆さんが快く募金してくれた”という声が寄せられています。子どもたちの痛みはわが痛み。**8月末**まで集めておりますのでご協力をお願いいたします。

カンパ袋が足りないという方は本部までお知らせください。

